

様式 1

授業科目 解剖学実習Ⅱ

科目コード番号

【担当教員名】 ○山田 まりえ、西野 幾子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

人体解剖模型、平衡聴覚器模型、口腔～喉頭模型などの観察とスケッチ。  
人体解剖実習見学では特に頭頸部の観察を行う。

<学習目標>

人体の構造、特に聴覚器・発声発語器官の解剖学的な理解を深める。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	ガイダンス	実習の概要とオリエンテーション	実習
2	頭頸部	人体解剖模型による頭頸部の観察とスケッチ	〃
3	頭頸部の関節	顎関節模型、環軸関節模型の観察とスケッチ	〃
4	平衡聴覚器官1～3	外耳～内耳模型、耳小骨模型の観察とスケッチ	〃
～			〃
6			〃
7	発声発語器官1～3	鼻腔～喉頭、舌～喉頭模型の観察とスケッチ	〃
～			〃
9			〃
10	内耳・喉頭	コルチ器・喉頭の組織標本の観察とスケッチ	〃
11	人体解剖実習(1～4)	人体解剖実習(頭頸部)の見学(新潟大学医学部)	〃
～			〃
14			〃

【評価方法】

実習態度、スケッチブック、レポート、実習試験の総合評価

【履修上の留意点】

実習は標本の数により、全員が同じ順序で行えるとは限らないので注意すること。  
実習では白衣を着用し、必要に応じて、パソコン、色鉛筆、スケッチブック等を持参すること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	入門人体解剖学	藤田 恒夫	南江堂	2000年 5000円
参考書				
その他 (プリント等)				